

私たちの 企業年金基金 だより

ホームページにも掲載しています

日生協企業年金基金



2026
第43号



世界遺産 プリトヴィツェ湖群国立公園(クロアチア)

山間に点在する16の湖と、それらを結ぶ92の滝が織りなす自然公園。炭酸カルシウム等の沈澱によって川がせき止められてできた湖群が階段状に連なり、太陽の光によってエメラルドグリーンやブルーなどに美しく色を変える。遊歩道だけでなくバスや遊覧船でも散策を楽しめる。



2025年度 年金経理決算のご報告

2025年度の資産運用は修正総合利回り2.61%で、予定利率を上回るプラス実績を確保しました。

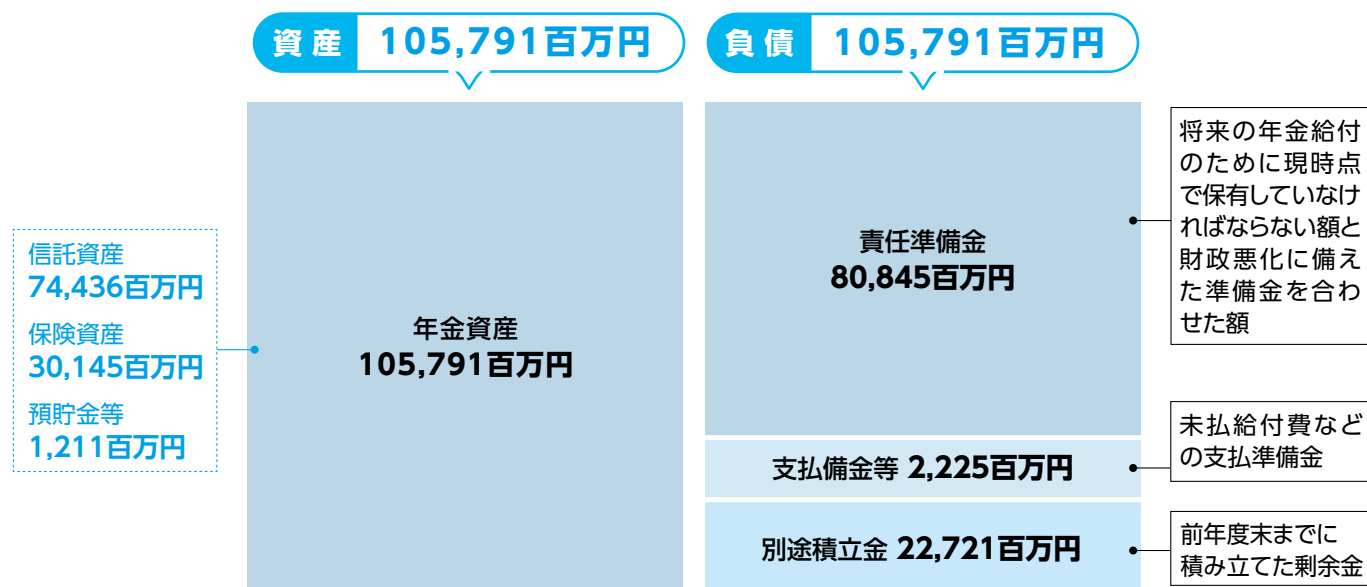
当年度の経常収入は、掛金等収入48.0億円と運用収益26.8億円を合わせた74.8億円となり、総資産は約1,058億円となりました。

この積立状況に基づいて財政検証を行った結果、継続基準、非継続基準どちらの検証でも基準値を上回り、基金財政の健全性が保たれていることを確認しました。(P3参照)

2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)の収支状況は



2025年度末(2026年3月31日現在)の年金資産の積立状況は



※2020年度決算より、法律改正に基づく新しい財政運営基準を反映した決算報告となっています。将来の給付支払いへの備えを「責任準備金」として積み立てていますが、それに加えて、災害やパンデミック・金融危機等の影響による財政悪化に備えて一定額までさらに積み立てすることが可能となっています。(一定額を超えると、その額が剰余金となります。)決算上、剰余金も不足金も発生しておりませんが、当年度も準備金が確保され基金財政が安定したものとなっていることには変わりありません。ご安心ください。

理事会・代議員会報告

2026年7月16日に第66回理事会・第41回代議員会を開催し、すべての議事について、承認をいただきました。

代議員会の議事事項は以下のとおりです。

議案第1号 2025年度決算及び監事監査報告の件

議案第2号 2026年度年金経理予算決定の件

報告第1号 代議員の交代報告

報告第2号 2025年度資産運用報告

報告第3号 規約変更に関する理事長専決処分事項の報告

報告第4号 その他報告

・「業務経理預貯金保護管理規程」の変更、資産運用委員会開催報告、せいきょうDC実施状況報告

※資産運用関係の詳細はP4～5を参照

安心できる年金給付のために

2つの検証で積立状況をチェック

皆さんの将来の年金給付を確かなものとするために、基金では毎年度、保有する資産について「継続基準」と「非継続基準」という2つの基準で積立状況をチェックしています。「継続基準」による検証では、基金が今後も継続していくことを前提として年金給付に必要な積立金が確保されているかどうかを検証し、「非継続基準」による検証では、制度が当年度末時点で終了すると仮定した場合に年金給付に見合う積立金があるかどうかを検証します。

区分	当基金の積立水準		基準値
継続基準	純資産額	103,567百万円	1.00 以上
	責任準備金	80,845百万円	
			= 1.28
非継続基準	純資産額	103,567百万円	1.00 以上
	最低積立基準額	76,530百万円	
			= 1.35

当基金におきましては、監事2名による内部監査に加え、監査法人による外部監査を受けております。2025年度決算の監査結果につきましても、会計上の重要な問題はありませんでした。

2025年度掛金納入状況をお知らせします

(単位：円)

	第1制度			第2制度		
	調定額	収納額	収納未済額	調定額	収納額	収納未済額
標準掛金	2,330,481,072	2,330,481,072	0	2,469,378,000	2,469,378,000	0
特別掛金	0	0	0	0	0	0
事務費掛金	233,035,013	233,035,013	0	65,747,160	65,747,160	0
合計	2,563,516,085	2,563,516,085	0	2,535,125,160	2,535,125,160	0

- ・2025年度の掛金については、全額納入いただいております。
- ・掛金は、事業所から提出された加入者に関する届書に基づいて計算し、毎月の掛金は、翌月の末日までに事業主負担で納入いただいております。
- ・毎月の掛金について
第1制度：標準掛金は標準給与の1.2%です。事務費掛金は標準給与の0.12%です。
第2制度：標準掛金は各事業所が任意に設定しています。事務費掛金は1人一律360円です。

2025年度

資産運用報告

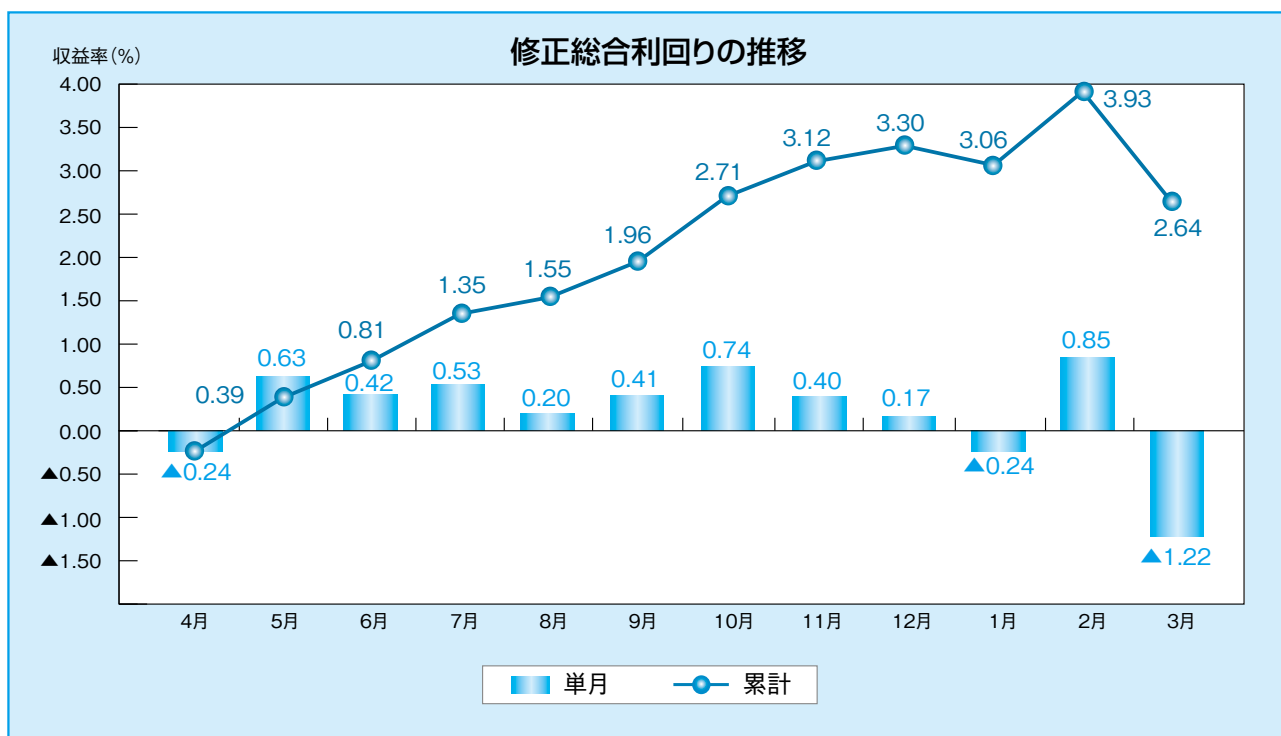
2025年度は、各国インフレ率の鈍化を背景に金融引き締め局面が終盤を迎え、世界的に金融政策の正常化と緩和期待が交錯した年でした。

2025年度末にはイランを巡る軍事衝突により地政学リスクが高まり、原油価格の上昇や株式、為替市場の変動性が拡大しました。

基金の運用実績としては年度末において株式を中心に下落する局面も見られましたが、年度通期では運用目標(2%)を上回るプラス実績となりました。(第1制度:2.64%、第2制度:2.58%)

第1制度

[表1 基金の運用実績(修正総合利回り※1)推移]



[表2 運用機関の実績に基づく通期収益率(時間加重収益率※2) / 時価総額・資産構成]

資 産	時間加重収益率※2 (単位: %)			時価総額(百万円)と政策的資産構成割合(%)			
	実 績	ベンチマーク	超過収益	時価総額	構成比	政策的資産構成割合	乖離度
世 界 債 券	▲ 0.42	▲ 0.43	0.02	15,347	32.09	34.00	▲ 1.91
インカム性資産	4.62	3.80	0.82	7,189	15.03	15.00	0.03
一 般 勘 定	1.64	0.70	0.94	14,103	29.49	27.00	2.49
短 期 資 産	0.54	0.51	0.02	2,091	4.37	3.00	1.37
世 界 株 式	10.07	28.22	▲ 18.15	7,809	16.33	14.00	2.33
そ の 他	4.34	4.30	0.04	1,282	2.68	7.00	▲ 4.32
計	2.66	4.62	▲ 1.96	47,820	100.00	100.00	0.00

※ 各金額、構成比については端数処理のため合計値が一致しない場合があります。

注) 修正総合利回り(※1)と時間加重収益率(※2)との違い

※1 掛金、給付といった資金の流入を含む基金の資産全体の運用実績を評価するのに使用される利回り。

※2 基金における資金の流入の影響を排除して計算した収益率で主に運用機関の運用能力を評価するのに使用される。

[資産運用委員会での主な議事内容]

当基金では、効果的な年金運用を目指して外部の有識者を含む「資産運用委員会」を理事長の諮問機関として設置しています。

2026年7月までに実施した資産運用委員会の主な議事内容は次の通りです。本議案について、資産運用委員会での確認を受けて第66回理事会・第41回代議員会で提案し、承認頂きました。

■第77回資産運用委員会

開催日：2026年6月8日 [対面開催]

議案

[協議事項]

第1号 2025年度資産運用振り返りと2026年度投資行動計画

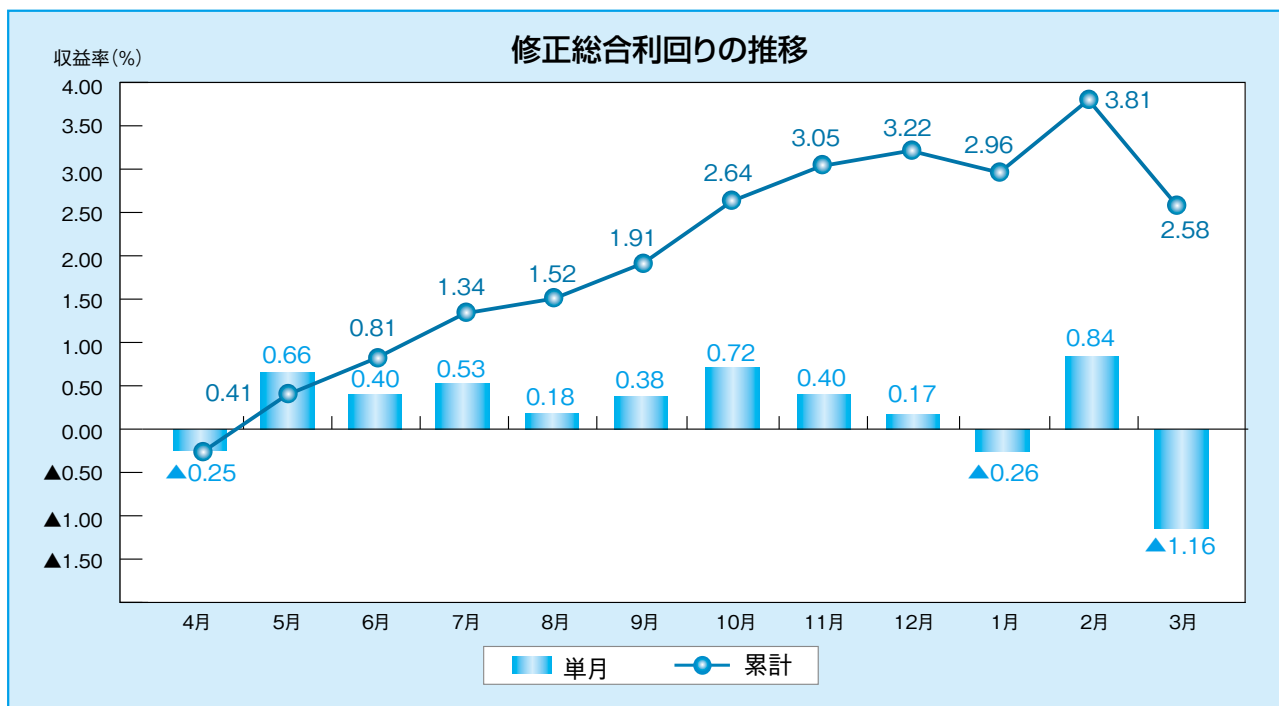
2025年度の資産運用実績報告ならびに、2026年度での取り組み及び課題について確認しました。

[その他]

オルタナティブ投資についての学習会

第2 制度

[表1 基金の運用実績(修正総合利回り※1)推移]



[表2 運用機関の実績に基づく通期収益率(時間加重収益率※2)／時価総額・資産構成]

資 産	時間加重収益率※2 (単位：%)			時価総額(百万円)と政策的資産構成割合(%)			
	実 績	ベンチマーク	超過収益	時価総額	構成比	政策的資産構成割合	乖離度
世 界 債 券	▲ 0.40	▲ 0.43	0.03	18,146	31.97	34.00	▲ 2.03
インカム性資産	4.37	3.80	0.57	8,765	15.44	15.00	0.44
一 般 勘 定	1.68	0.70	0.98	16,042	28.26	27.00	1.26
短 期 資 産	0.54	0.51	0.02	3,022	5.32	3.00	2.32
世 界 株 式	9.64	28.22	▲ 18.58	9,247	16.29	14.00	2.29
そ の 他	4.34	4.30	0.04	1,538	2.71	7.00	▲ 4.29
計	2.61	4.62	▲ 2.02	56,760	100.00	100.00	0.00

※ P4、[表2] 下部の注記をご参照ください。

基金の現況

2026年3月末

事業所数(件)

第1制度	391
第2制度	200

加入者数(人)

	男子	女子	計
第1制度	25,766	23,644	49,410
第2制度	10,725	4,652	15,377

平均掛金月額(円)

	男子	女子	計
第1制度	4,438	3,438	3,959
第2制度	14,020	12,320	13,519

※第1制度は平均標準給与月額に1.2%を乗じて算出しています。

年金受給者数(人)

	男子	女子	計
第1制度	1,411	1,384	2,795
第2制度	364	88	452

年金給付(件数：人、金額：千円)

		第1制度	第2制度
老齢給付金	件数	1,470	447
	金額	355,145	194,783
5年年金	件数	462	84
	金額	167,624	39,425
10年年金	件数	714	159
	金額	153,439	68,338
15年年金	件数		74
	金額		37,295
20年年金	件数	294	130
	金額	34,081	49,723
第一経過年金	件数	758	
	金額	10,534	
第二経過年金	件数	140	
	金額	27,179	
旧加算年金	件数	861	
	金額	91,033	
他制度から承継した年金	件数		5
	金額		4,496

一時金給付(件数：人、金額：千円)

[自2025年4月 至2026年3月]

		第1制度	第2制度
脱退一時金	件数	2,038	607
	金額	774,439	658,262
選択一時金	件数	789	492
	金額	1,579,367	3,864,144
遺族給付金	件数	46	16
	金額	54,536	77,940
第一経過一時金	件数	81	
	金額	4,118	
他制度から承継した一時金	件数		0
	金額		0

※基金からの一時金は、請求書等に不備が無ければ請求書等が基金に届いてから1ヵ月以内にお支払しています。

給付の繰下(件数：人、金額：千円)

[自2025年4月 至2026年3月]

		第1制度	第2制度
繰下	件数	37	12
	金額	49,183	64,737

他の年金制度への移換(件数：人、金額：千円)

[自2025年4月 至2026年3月]

		第1制度	第2制度
企業年金連合会	件数	95	21
	金額	35,159	19,409
確定給付企業年金	件数	0	1
	金額	0	76
厚生年金基金	件数	0	0
	金額	0	0
確定拠出年金(企業型)	件数	15	7
	金額	8,833	7,891
国民年金基金連合会(iDeCo)	件数	26	3
	金額	12,914	2,437

福祉給付(件数：人、金額：千円)

[自2025年4月 至2026年3月]

死亡弔慰金	件数	30
	金額	900

基金を脱退されたときは、忘れずに給付請求手続きをお願いします！

生協を退職された場合等、加入期間3年以上(第2制度は1ヵ月以上)の方は、給付の支給対象となります。事業所もしくは基金からの案内に沿って必ず給付の請求手続きをお願いします。

給付に関する問い合わせ先：給付請求手続専用フリーダイヤル0120-604-608

日生協企業年金基金

発行日 2026年8月28日



〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9 南部ビル1階

☎03(3497)0881 FAX 03(3497)0882

給付請求手続専用フリーダイヤル0120-604-608(平日9:00~17:15)

<https://www.nisseikyokukin.jp/>

←E-mail:coopkikin@work.odn.ne.jp